

放散等級区分表示 F☆☆☆☆

抜群の遮熱・断熱効果
最大で20°Cの低減



スレート屋根再生強化
セラミックス・強化ファイバー配合

Thermal Barrier Coatings

バリアス

遮熱・断熱塗材

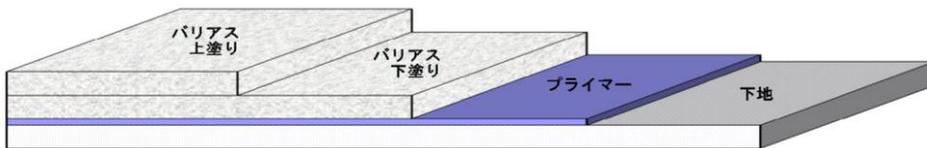
無機質系

撥水・防汚性タイプ

EC company corporation

施工仕様 ※ 断熱・遮熱塗材 バリアスは吹き付けガンによる塗装方法を使用します。

工程	使用材料	使用量/回 (kg/m ²)	塗回数	上塗可能時間	備考
下地	下記の注意事項を参照 カビ、藻、エフロレッセンス等の付着物を除去し乾燥し清浄な面とする。				
プライマー	カチオンシーラー	0.1~0.15	1	2時間以上	無希釈のままローラー、ハケ、エアレスにて塗布
主剤塗	断熱・遮熱塗材 バリアス	1.0~1.2	1	2時間以上	清水にて2~5%希釈し、リシガン(φ4~6mm)、にて塗布
主剤塗	断熱・遮熱塗材 バリアス	1.0~1.2	1	24時間以上	清水にて2~5%希釈し、リシガン(φ4~6mm)、にて塗布
防汚保護剤	アクアコート	0.2~0.3	1	12時間以上	無希釈のままローラー、ハケ、エアレスにて塗布



※屋根の場合、防汚保護剤は標準仕様になります。

商品名	荷姿
カチオンシーラー	16kg缶
遮熱塗材 バリアス	20kg セット
遮熱塗材 バリアス (光触媒配合) ※抗菌を目的にする場合に使用	20kg セット
防汚保護剤 アクアコート	16kg缶



1. 金属素材の素地調整

(1) 下地処理

◎旧塗膜が劣化していない場合

ごみ、汚れ等の付着物を除去し、高圧洗浄などにより全面を清浄にする。乾燥させて水分を完全に除去する。

◎旧塗膜が部分的に劣化している場合

高圧洗浄により、ごみ・汚れ等の付着を除去し、乾燥後、剥離部分を完全に取り除く。素地の露出部や発錆箇所を錆止め塗料を塗布、乾燥させてから、隙間や穴はコーキングまたはパテで補修する。

◎旧塗膜の劣化が著しい場合

高圧洗浄などにより、ごみ・汚れ・浮き塗膜等を完全除去する。乾燥させてから残りの旧塗膜をワイヤーブラシ、サンダー等で完全に取り除く。素地の露出部や発錆箇所を錆止め塗料を塗布し、乾燥させてから、隙間や穴はパテで補修する。

(2) 下塗り

下地材(鋼板材、トタン、亜鉛鋼板、)にカチオンシーラーを塗布してください。

2. 窯業素材の素地調整

(1) 下地処理

◎旧塗膜に変色、ツキ引けがなく全面に異常がない活塗膜の場合は、高圧洗浄などにより付着物、粉塵、汚れを完全に除去する。

◎旧塗膜が変色、チョーキングして光沢が著しく低下していたり、部分的に剥がれている場合は全面高圧洗浄により除去する。
※洗浄後は十分乾燥させてください。

(2) 下塗り

下地材(波型スレート)にカチオンシーラーを塗布してください。

●保管方法

保管方法について常温にし、直射日光の当たる場所は避けてください。使い残りはなるべく空気に触れないように落し蓋などをし、しっかり蓋をしておいて下さい。

開封後は、なるべく早く使いきって下さい。塗圧が高すぎると塗料のはね返りが多く、流れ易く不均一になり易くなります。また塗圧が低すぎると必要な膜厚が得られず作業能率が低下します。

●乾燥時間

バリアスは水性で常温乾燥型の塗料ですから、気温と湿度により乾燥時間が変わります。特に夏期と冬期では乾燥性の差がありますのでご注意ください。

【注意事項】

- 保管方法 常温(25℃)以下で、直接日光の当たる場所は避けてください。
- 保障期間 一度開封したものは、落し蓋をして缶蓋側面をガムテープ等で密閉し、保管してください。なるべく早く使用して下さい。
- 洗浄 本品は乾燥が速いので、ホースおよび器具の使用終了後にはすぐに水に浸して洗浄して下さい。
- 凍結 本品は一度凍結すると使用できなくなります。
- 高圧洗浄 リフォームの際、塗布する前は高圧洗浄をお勧めします。
- 研練 塗布の際、古い塗料を完全に削り取るまでの必要はありません。
- 塗装環境 晴天条件で素地が充分乾燥した状態で塗装を行ってください。
- 塗装作業 気温5℃以上、湿度80%以下の条件下で行ってください。

バリアスの一般性状

外観	白色、または着色の水系粘稠液体(混合後)
成分	特殊無機フィラー、変性シリコン樹脂
不揮発分(%)	約60
比重	約1.5
pH	9~10
貯蔵安定性	冷暗所密封保管 6ヶ月(混合前)
備考	消防法 非危険物

試験項目	試験方法	試験結果
1 塗膜の外観	JIS K 5663	塗膜の外観が正常である。
2 付着性	一次 JIS A 6909	2.60 N/mm ²
	耐水 JIS A 6909 10日間水浸漬後	2.69 N/mm ²
3 耐水性	JIS K 5600 常温水10日間浸漬後	異常なし
4 耐液体性	JIS K 5600 (1% H ₂ SO ₄)	異常なし
	Ca(OH) ₂ 飽和水浸漬 200時間後	異常なし
5 温冷繰り返し	水中~空中 -5℃~40℃ 8サイクル	異常なし
6 塗膜硬度	鉛筆引掻き	2B~3B
7 促進耐候性	サンシャインウエガ-メーター 200時間	異常なし
8 屋外暴露試	3年後	膨れ、はがれなし

上記データは代表サンプルの弊社試験値であり、規格値・保証値ではありません。

総販売元 株式会社 ECカンパニー

〒761-0312 香川県高松市東山崎町 87 番地1

TEL:087-873-2618 FAX:087-873-2617

URL: <http://www.ec-company.jp>

お問い合わせ

遮熱・断熱塗材 **バリアス**とは・・・

太陽の熱エネルギー（赤外線）を反射する機能型遮熱塗材で環境負荷の低減に貢献する省エネ効果製品です。

バリアスを塗る事で屋根表面温度を10～20℃下げ室内温度を大幅に改善します。仕上がった塗膜は、汚れ・カビ・藻の発生を防ぎ、長期に渡り遮熱効果を持続させます。

適応下地

- 波形スレート、折板等
- モルタル、コンクリート下地
- ALC

特徴 1

遮熱性 Thermal barrier

塗膜の厚みは1mm以上あり熱伝導性を抑え遮熱性にも優れています。また、省エネ・空調コスト削減 夏場の冷房にかかるエネルギーを節約できます。作業環境の改善 真夏の職場環境改善・室内温度が緩和できます。空調エネルギーの削減がCO2排出削減となり、環境貢献に繋がります。



遮熱・断熱塗材 バリアスの仕組み

特徴 2

断熱性 Insulation

建物内の天井や塗る事により屋外に放出していた熱エネルギーを約60%程度閉じ込めて冷暖房効率を高めます。

特徴 3

耐候性 Weather resistance

撥水性塗膜で防汚性に優れるため、遮熱性能を長期に持続させます。また不燃性無機質系素材なので、火事などによる有毒ガスや延焼を防ぎます。

特徴 4

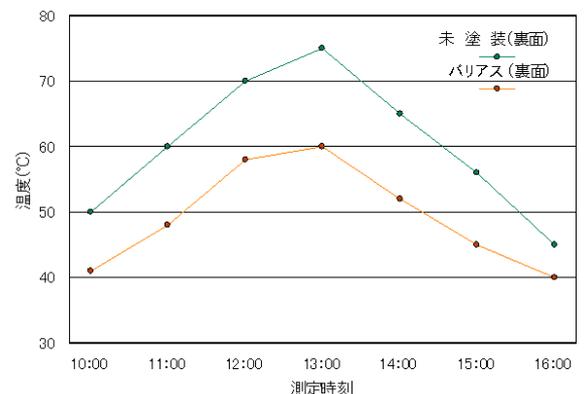
美観性 Appearance

吹き付けガンにより美しいゆず肌調に仕上がります。コテによる施工も可能で様々なテクスチャーに対応できます。

右のグラフは、鉄板屋根にバリアスと未塗装の場合の夏場における1日の温度推移です。外気温の上昇とともに、未塗装の屋根表面部は、急激な温度上昇をみせていますが、バリアスを塗布した場合は、急激な温度上昇を和らげ、温度も約15℃～20℃程低く抑えられています。屋根の表面・裏面温度を測定した結果、鉄板で20度、スレートでは15度前後の温度低下が確認されました。バリアスは、夏場の遮熱効果は無論のこと、冬場は外部へ熱を逃がさない保温材としての機能も有します。結果、年間を通じての空調費が節約され、経済的かつ省エネが可能となります。また工場等では、作業空間の快適性がアップし、作業能率が向上します。



屋根鋼板: 裏面温度

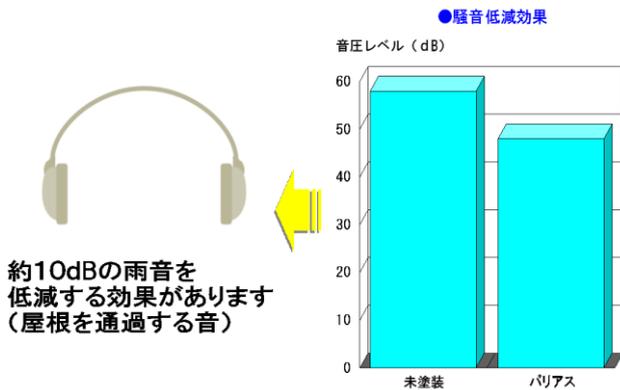


厚膜による 素地強化！！

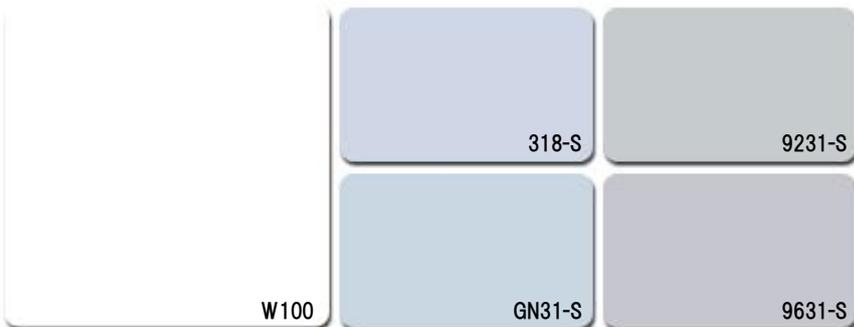
バリアスは古いスレート屋根の下地を新築同様に再生します。セラミック・強化ファイバーを配合することでアスベストの封じ込めが可能になり、産業廃棄物を出さず、解体時の飛散を防ぎ、人体及び環境にも貢献できます。

撥水効果で水や 湿気・汚れから守る！！

バリアスは汗で蒸れたりしないレインウェアと同じ機能を持つ通気性のある塗膜です。水蒸気は通すが雨は吸い込まない仕組みになっていますので結露を抑えることも出来ます。また、バリアスの撥水性能は10年経っても効果を維持しますので防汚性能に優れています。



カラーサンプル



※原荷姿は白色ですが、別途顔料使用により着色可
 ※標準色以外にもパステル系で調色可能ですが、別途オプションになります。
 ※濃色は遮熱断熱効果が薄くなります。

用途

- 一般建造物の内外装
- 物流倉庫など
- 食品加工場、体育館、その他
- 畜舎、車庫、物置



※ 遮熱効果で温度差は最高で20℃

環境に配慮した材料 を使用しています。

- ホルムアルデヒド系の防腐剤を使用していません。
- 環境ホルモン物質を含みません。
- いやな臭いがしません。



※ 吹き付け以外にコテによる施工も可能です。